

表1 事故件数の年度別推移

2017年度

製品区分	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
01.家庭用電気製品	2,266	2,011	2,305	2,307	1,381	1,423	1,231	1,516	1,285	1,439
	(49.9%)	(53.1%)	(55.2%)	(59.1%)	(45.6%)	(39.8%)	(51.8%)	(62.9%)	(59.1%)	(63.9%)
02.台所・食卓用品	137	158	79	79	176	88	75	19	16	154
	(3.0%)	(4.2%)	(1.9%)	(2.0%)	(5.8%)	(2.5%)	(3.2%)	(0.8%)	(0.7%)	(6.8%)
03.燃焼器具	936	696	686	705	597	783	623	466	444	373
	(20.6%)	(18.4%)	(16.4%)	(18.1%)	(19.7%)	(21.9%)	(26.2%)	(19.3%)	(20.4%)	(16.6%)
04.家具・住宅用品	328	213	396	304	241	224	133	107	147	82
	(7.2%)	(5.6%)	(9.5%)	(7.8%)	(8.0%)	(6.3%)	(5.6%)	(4.4%)	(6.8%)	(3.6%)
05.乗物・乗物用品	167	164	241	168	98	110	89	71	50	67
	(3.7%)	(4.3%)	(5.8%)	(4.3%)	(3.2%)	(3.1%)	(3.7%)	(2.9%)	(2.3%)	(3.0%)
06.身のまわり品	418	232	201	198	415	184	132	78	72	70
	(9.2%)	(6.1%)	(4.8%)	(5.1%)	(13.7%)	(5.2%)	(5.6%)	(3.2%)	(3.3%)	(3.1%)
07.保健衛生用品	28	120	59	21	23	20	20	8	9	15
	(0.6%)	(3.2%)	(1.4%)	(0.5%)	(0.8%)	(0.6%)	(0.8%)	(0.3%)	(0.4%)	(0.7%)
08.レジャー用品	103	80	87	73	56	51	47	49	25	23
	(2.3%)	(2.1%)	(2.1%)	(1.9%)	(1.9%)	(1.4%)	(2.0%)	(2.0%)	(1.2%)	(1.0%)
09.乳幼児用品	130	81	90	21	14	673	15	10	13	21
	(2.9%)	(2.1%)	(2.2%)	(0.5%)	(0.5%)	(18.8%)	(0.6%)	(0.4%)	(0.6%)	(0.9%)
10.繊維製品	29	35	29	25	25	15	10	88	111	8
	(0.6%)	(0.9%)	(0.7%)	(0.6%)	(0.8%)	(0.4%)	(0.4%)	(3.6%)	(5.1%)	(0.4%)
11.その他	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	4,542	3,790	4,173	3,901	3,026	3,572	2,376	2,412	2,173	2,252
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)

(注) 括弧内の数字は、各年度の通知件数に占める製品区分毎の割合を百分率で表したものの

図1 事故件数の年度別推移

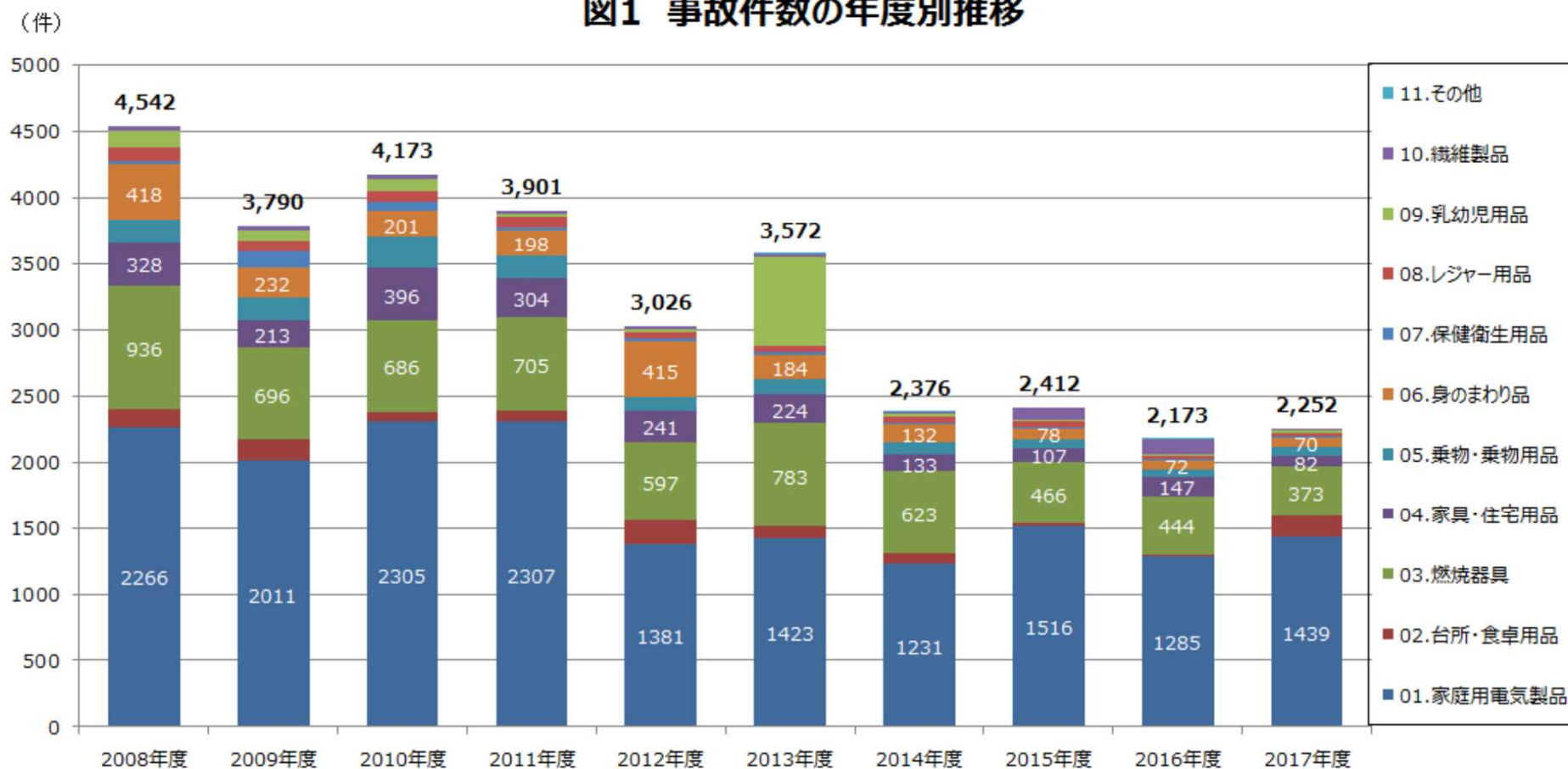


表2 製品区分別被害状況

2017年度
(件)

製品区分	被害状況			人的被害が発生した事故									物的被害が発生した事故						被害なし		
	合計			死亡			重傷			軽傷			拡大被害			製品破損					
01.家庭用電気製品	1,439	1,285	1,516	22	18	15	26	22	22	99	66	56	518	501	446	755	670	971	19	8	6
02.台所・食卓用品	154	16	19	0	0	0	2	3	7	9	7	4	0	1	1	143	4	3	0	1	4
03.燃焼器具	373	444	466	14	14	21	8	7	4	37	47	51	147	134	142	160	231	243	7	11	5
04.家具・住宅用品	82	147	107	6	3	5	26	30	48	31	51	38	0	5	2	12	57	14	7	1	0
05.乗物・乗物用品	67	50	71	3	1	1	29	17	33	15	18	29	7	7	1	11	6	7	2	1	0
06.身のまわり品	70	72	78	0	1	2	13	8	8	15	23	20	30	28	30	11	12	18	1	0	0
07.保健衛生用品	15	9	8	0	0	0	1	1	4	13	8	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0
08.レジャー用品	23	25	49	0	0	0	1	4	10	8	14	29	4	2	0	10	5	10	0	0	0
09.乳幼児用品	21	13	10	0	0	0	3	4	4	3	4	6	0	0	0	14	2		1	3	0
10.繊維製品	8	111	88	0	0	0	1	3	6	4	90	82	0	0	0	1	17	0	2	1	0
11.その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,252	2,173	2,412	45	37	44	110	99	146	234	329	317	706	678	624	1,117	1,004	1,266	40	26	15

(注)

- 被害状況については、製品の問題の有無を問わずに見た件数である。
- 重傷とは、全治1カ月以上のけがを言う。
- 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものを言う。
- 各欄内の数値は（2017年度、2016年度（青）、2015年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

2017年度
(件)

事故原因 製品区分	調査が終了したもの															調査が終了したもの 小計	H : 調査中のもの	合計																		
	重大製品事故	非重大製品事故																																		
		製品に起因する事故					製品に起因しない事故					原因不明																								
		A : 専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの	B : 製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C : 製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	G3 : 製品起因であるが、その原因が不明のもの	D : 業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの	E : 専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F : その他製品に起因しないと考えられるもの	G1、G2 : 原因不明、調査不能のもの																											
01.家庭用電気製品	150	314	342	385	511	723	2	2	56	11	9	13	49	43	52	7	13	30	29	59	108	14	97	75	85	112	108	732	1,160	1,507	707	125	9	1,439	1,285	1,516
02.台所・食卓用品	1	1	4	2	3	6	0	1	0	0	0	0	136	1	2	0	0	0	0	3	2	0	2	3	3	5	2	142	16	19	12	0	0	154	16	19
03.燃焼器具	37	79	101	4	15	7	0	1	0	10	21	18	5	8	8	3	6	10	44	97	99	12	66	78	78	132	140	193	425	461	180	19	5	373	444	466
04.家具・住宅用品	6	10	20	12	13	21	1	2	2	0	0	0	0	1	1	0	4	3	11	21	23	2	11	21	9	82	15	41	144	106	41	3	1	82	147	107
05.乗物・乗物用品	4	12	20	0	8	5	0	0	4	0	0	0	0	1	7	0	1	5	1	2	1	1	7	12	9	14	14	15	45	68	52	5	3	67	50	71
06.身のまわり品	2	16	20	3	17	21	0	2	2	0	0	1	6	4	9	0	0	0	4	3	4	0	10	12	15	19	9	30	71	78	40	1	0	70	72	78
07.保健衛生用品	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	4	1	2	2	3	8	8	7	7	1	1	15	9	8
08.レジャー用品	1	4	10	6	10	21	1	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	3	2	1	2	4	4	3	10	15	24	49	8	1	0	23	25	49
09.乳幼児用品	0	2	3	15	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	0	1	0	16	12	10	5	1	0	21	13	10
10.繊維製品	0	1	3	4	106	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1	2	1	5	110	88	3	1	0	8	111	88
11.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
合計	201	439	525	433	689	887	4	11	64	21	30	32	197	58	81	10	24	48	90	192	245	35	200	209	206	372	302	1,197	2,015	2,393	1,055	158	19	2,252	2,173	2,412

(注)

- 各欄内の数値は（2017年度、2016年度（青）、2015年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分の被害状況を集計したものである。
- 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 製品区分別被害状況

2017年度
(件)

事故原因区分	被害状況			人的被害が発生した事故			物的被害が発生した事故			被害なし
	合計			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
重大製品事故	835	581	531	30	103	54	460	187	1	
A : 専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの	433	689	887	0	0	42	23	363	5	
B : 製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	4	11	64	0	0	4	0	0	0	
C : 製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	21	30	32	0	0	1	3	17	0	
G3 : 製品起因であるが、その原因が不明のもの	197	58	81	0	0	2	35	160	0	
D : 業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの	10	24	48	0	0	0	4	5	1	
E : 専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	90	192	245	1	0	23	42	18	6	
F : その他製品に起因しないと考えられるもの	35	200	209	1	3	7	10	13	1	
G1、G2 : 原因不明、調査不能のもの	206	372	302	7	1	50	52	90	6	
調査が終了したもの 小計	1,831	2,157	2,399	39	107	183	629	853	20	
H : 調査中のもの	421	16	13	6	3	51	77	264	20	
合計	2,252	2,173	2,412	45	110	234	706	1,117	40	

(注)

1. 各欄内の数値は（2017年度、2016年度（青）、2015年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分の被害状況を集計したものである。
2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別被害状況

2017年度
(件)

(製品に起因する非重大製品事故)

製品区分	再発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの			製品の製造、販売又は輸入を中止したもの			製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの			表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの			政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの			被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置		
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	333	476	694	280	393	499	1	16	17	118	108	213	6	6	11	310	422	630	373	409	631
02.台所・食卓用品	138	5	8	0	1	5	0	1	3	273	4	5	1	1	5	0	2	3	138	2	1
03.燃焼器具	11	25	15	5	5	7	0	0	0	2	2	3	0	2	0	6	18	8	14	20	18
04.家具・住宅用品	13	14	24	7	8	9	2	6	9	6	5	16	5	1	2	3	3	10	5	9	10
05.乗物・乗物用品	0	8	14	0	6	4	0	1	2	0	4	16	0	0	4	0	4	2	0	3	3
06.身のまわり品	4	20	28	2	6	20	0	3	5	2	23	28	0	8	5	2	6	16	4	11	18
07.保健衛生用品	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
08.レジャー用品	8	11	23	4	1	14	4	2	8	9	11	27	5	4	4	6	3	10	6	9	18
09.乳幼児用品	15	2	3	14	2	3	0	0	0	15	1	1	0	0	4	0	2	1	1	2	1
10.繊維製品	4	106	80	3	106	79	1	31	79	1	31	0	0	0	1	3	106	79	3	105	80
11.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	527	667	889	315	528	640	9	60	123	427	189	309	17	22	36	330	566	759	544	570	780

(注)

1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。
2. 各欄内の数値は（2017年度、2016年度（青）、2015年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分の被害状況を集計したものである。
3. 措置実施件数には、個別措置のみのものを除く。